

今後の省エネ基準

建築行政の主管である国交省が主体となって

住宅の脱炭素化と健康快適な暮らしを実現すべし！



住生活基本計画にエネルギー・健康快適を明記せよ！



住宅ストックの
100%がZEH化！



住宅ストックのZEH率75%

2045



再エネ中心社会
日本の脱炭素化



国民みんなが
健康快適

住宅ストックのZEH率50%

2040

住宅ストックのZEH率25%

2035

戸建新築でZEH義務化
断熱等級6適合義務化

2030

1次エネ削減率新築目標引上げ
既築の省エネ設備更新推進
断熱等級5適合義務化

2025

G1

省エネ基準
即時適合義務化



現状



不健康不快
光熱費負担大

断熱等級6
標準化

断熱等級5
早期適合義務化

断熱等級4
即時適合義務化

断熱

買替サイクルが
早い設備
蓄電池/EVは
後回しでOK

エアコン・給湯機の
LEDの高効率化は十分
普及・更新が課題

高効率設備

既築や共同住宅への
太陽光設置を
推進

新築への
太陽光設置を
早期に義務化

太陽光発電

×

+

「暖かく健康快適な暮らしをゼロエネで全ての人に届けるために、住宅の省エネ目標をバックカスティングで設定し期限を決めて猛スピードで今すぐ実行しよう」

(東京大学大学院 前准教授 提出資料)